

新規引合時の敏速な試作加工及び自社の強みを発揮した 低コスト加工技術の開発

株式会社ヨコタコーポレーション

事業概要

グローバル競争激化の中、顧客企業の現地調達化による受注減と価格低下の傾向が強まった。国内での雇用維持を図るために、従来の量産加工技術の利点を生かすとともに、さらに高速度加工技術の開発を進め、低コスト量産体制に求められる短サイクルタイム加工を追求した加工技術を構築する。

製品開発のきっかけ

■強みを活かしていくために

創業来55年間、標準量産タイプの小・中径ベアリング旋削加工事業を主体とし、独自の生産技術を構築、品質・コストにおいて優位性を発揮してきた。それらは自動車やバイク等に最も多く使用されている。

■国内需要の低下

近年自動車メーカー等の現地生産が進み、それに伴い弊社の顧客である軸受メーカーも海外へと進出し、現地調達を加速度的に増やしている。その結果、国内需要は減少し、弊社も受注減の影響を大きく受けており、今後の大きな経営課題となっている。

製品開発の目標

これらの課題に対し、永年培った加工技術を基本とし、更に独自性を追求して、顧客からの多品種少量・短納期化の要求に対応した生産体制を構築する。

そして、新規顧客の開拓を進めると共に新興諸国に負けない低コスト加工技術の開発を進め、国内生産を維持継続し事業拡大を図り雇用の課題にも取り組みたい。

製品開発の内容・ポイント

【低コスト加工工程の設計】

既存設備での加工工程の優位性と課題を明確にして、新規導入設備による加工工程を決定する。

【工程レイアウトの設計】

作業性、製品の流れ、有効スペースを考慮した低コストが実現可能なレイアウトを設計する。

【新工程での加エテスト】

実加工を行い、加工条件を洗い出す。無人稼働を目標として、安定かつ高い生産性の追求を行う。特に切粉処理を良くして異常品の発生防止に努める。

【本工程での生産開始】

連続稼働に入り、日々の生産実績を把握して、コストの算出と課題を明確にして、改善を継続して行う。

【導入による具体的な生産体制】

従来の一人当たり加工高に対して、約2倍の加工高に引き上げる計画を掲げた。

〒779-3306
徳島県吉野川市川島町学字辻4-2
TEL. 0883-25-2121
FAX. 0883-25-4549
URL <http://www.yokota-inc.com/>

設立年月日 昭和35年4月14日
従業員数 219人

業種 金属製品製造業
主要製品等 ベアリングレース、自動車部品、
検査機、自動化設備 等

PRコメント

創業55年を迎えました。
経営理念として、『地域社
会に貢献できる企業にな
る』『にんげんいきいきの
人づくり』を掲げ、生産事
業の他、リユース事業、住
宅事業も展開しています。



代表取締役

横田 賢二

本事業の成果

試作品開発と設備投資という本事業により、従来、油圧単能機で加工していた小ロット加工品について、自動供給付きのNC旋盤を導入することにより、異形状の試作品の加工を迅速かつ容易にし、また、汎用バイトの使用及び作業者の多台数持ちが可能になり、低コストが図られた。

☑低コスト加工工程への転換

試作加工した2案件において、NC旋盤加工と加工工程変更により、注文から納品までのリードタイムが、25日短縮された。

☑品質と生産性が向上

品質面においては、今回の工程変更により、従来製品の寸法バラツキが半減、単工程で発生する可能性がある工程飛びという問題もなく、保証体制も容易となった。

生産性においては、従来の工程は旋削工程設備7台で、1時間当たりの生産能力は300～500個であったが、今回の工程は旋削工程設備1台で、90個となり、面積効率及び機械効率は高まった。

今後の展望と活動予定

今回導入した設備等による低コスト化加工を拡大することにより、ベアリング業界に限らず、自動車部品や産業機械分野、精密かつ異材質な部品が求められる医療機器、航空機関連等の幅広い市場への参入も可能になった。

今回、試作加工した2案件については、グローバルに市場が拡大しつつあり、既存取引先へのアプローチに加え、引き合い頂いた新規顧客の販路拡大を図っていく。

将来的には、全く新しい試作開発体制を構築して、顧客ニーズへの迅速な対応力で受注を獲得しつつ、雇用面では効率化で浮いた余剰人員による新規受注への対応と更なる雇用の拡大を視野に事業拡大を推進する。